

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部林務課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	林務課長 村田 善郷 (課長補佐 菅原 健)	内線	4100 (4112)
------	----------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	林業構造改善事業	事業名	実施地域	総事業費	
		地域林業経営確立林構	関宮町	273百万円	

所在地			着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父郡関宮町一円			1 3	1 5

事業の目的	事業内容
林業生産活動の活性化と地域林業の振興を図るため 林業生産基盤を整備し、間伐等適正な森林整備と間伐材生産など生産コスト低減を促進する。	林道開設（関宮町） 2路線 1,300m 林道舗装（関宮町） 2路線 2,408m

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>当町の森林面積は町土の85%を占め、人工林はその過半を占めるうえ成熟化が進んでいるため、森林の整備や林業振興は、地域活性化を図るうえで重要な課題である。</p> <p>林業振興を図るためには、生産基盤である林道開設等林内路網を早急に整備し、生産コストの低減や労働環境条件を改善することによる「生産性の高い林業」を確立する必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>林道開設については、地域森林計画に沿って計画的に整備するもので、本事業導入により、町内林内路網密度は9.1m/haとなり、当面、整備後5力年で当該路線区域森林の森林整備や間伐材生産等を行う。 費用対効果分析は、三宅線1.1、本谷線2.4であり、有効性は高い。</p> <p>林道舗装については、急勾配急カーブの多い路線について簡易舗装を行うもので維持管理費の軽減等費用対効果分析は、片岡線2.0、安井線2.3であり、有効性は高い。</p> <p>林道開設等により、安定的な木材供給の基盤が充実し、平成13年3月に合併する養父郡4町森林組合の活動フィールドを拡げ、合併後の生産活動の一層の強化に繋がる。</p>
(3)環境適合性	<p>林道開設等は、生態系の保全や木材の利活用等環境に配慮した工法を選定する。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------